



「ぼくの夢 わたしの夢」

校長 仮屋 浩一

子どもたちから「何で勉強をしないといけないの?」ときかれることがあります。そのとき、私が話をするのは「夢」の話です。

学校教育において夢を語るということはとても大切なことです。現在キャリア教育で将来の職業についての学習を学校でも行っています。メジャーリーグで活躍している大谷選手も高校生の頃よりメジャーリーガーという夢を形にするために、一つ一つ計画を立ててそれを実践し、現在に至っているというのも有名な話です。

ところで、子どもたちに「夢」の話をする時、ほとんどが「なりたい職業」の回答になります。私たち教職員も「何になりたい?」というきき方をするのも多いのも影響があるのかもしれませんが、私は「夢=職業」とは限らないと常々思います。夢が「将来ボランティア活動をして困っている人を助けたい」や「アフリカを横断してみたい」、「お金を稼ぎたい」でも良いと思うのです。

さて、子どもたちには今年の冬休みに「ぼくの夢、わたしの夢」という課題を出しました。宿題ですからご家庭でお子様と語った方もいらっしゃると思います。子どもたちは何を書いたのでしょうか。先日私はわくわくしながら、出された全員分の「夢」を読みました。やはりその多くが、なりたい職業で、子どもたちの気持ちが溢れるものばかりでした。中には「まだ自分の夢が何なのかわからない。」という子もいました。それもよくわかります。真剣に考えるからこそ出てきた答えだと思えるからです。最近子どもたちの間でもネットの情報が激しく行き交い、それに関連した「ゲーム実況をYouTubeで配信する人(YouTuber)」になりたいという子もいます。また、「サスケ(TV番組)に出場してみたい」、「ロボットを作る学者になりたい」、「家に小さい動物園をつくりたい」という創造性豊かな夢もありました。夢を一つにできずに、2つ、3つ書いた子や中には5つも書いた子もいました。どれも一生懸命考えた「夢」でした。

さて、「なぜ勉強するのか」という子どもたちへの回答です。

大谷選手のことは知っていますか?大谷選手のように高校生の頃から、夢をもつことはとてもいいことだと思います。そして、いつか「夢」が「目標」になる日がくるかもしれません。そのときに、勉強ができる・できないということがあなたにとって、高い壁になってほしくないと思います。勉強ができないから夢をあきらめようとなってほしくないと思います。夢に向かうには3つの力が大切です。それは、勉強の力、体の力、心の力です。どれも大切です。勉強をするのは「いつか」のために自分の力を蓄えておくためです。

あなたたちは、これから何にだってなれます。それはとても素晴らしい可能性です。これからも夢をもって努力する人になりましょう。

社会は、大きな変革の時代に突入しています。10年前にはなかった仕事が出てきて、今ある仕事もこの先実在しなくなるかもしれません。この時代の流れの渦に巻き込まれない時代に応じた「夢」の実現ができるような教育をこれからも実施していこうと思います。

自分の力に挑戦~鹿児島学習定着度調査~

1月18日(火)と19日(水)

5年生は鹿児島学力定着度調査を受けました。教科は、国語・社会・算数・理科の4教科です。この調査は、1年生から5年生の2学期までに学習した内容の調査になります。問題の文章や表や図などから必要な情報を取り出し総合的に読んで答える問題です。また、考えたことややり方などを説明する問題もあります。子どもたちは、問題に時間いっぱい真剣に取り組んでいました。今後、校内の学力向上委員会等で、調査のできた部分、できていない部分をしっかり分析、課題を把握し、子どもたち一人一人の力を伸ばしていきます。



「へき地・複式教育」公開研究会終わる

1月26日(水)の午後から、兼久小学校で「大島地区研究協力校『へき地・複式教育』公開研究会」が行われました。初めは大島地区の先生方が70名近く参加する予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、天城町内小中学校の先生方だけで人数制限をしての実施となりました。

研究の成果を見ていただくために、2年生と3・4年生が公開授業をしました。この2年間で子どもたちは、ガイド(学習の進行者)を中心に自分たちで学習を進められるようになりました。自分の考えをノートにまとめたり、発表したりする力も付いてきています。様々な成果がありました。まだ課題となることもあります。今後も、子どもたちの力を伸ばすため、更に研究を重ねていきます。



善意に感謝「おぼらだれん」

- 天城町新型コロナウイルス感染症対策本部から、マスク
- 天城町商工会青年部から、図書5さつ

2月・3月の行事予定

◇【2月の主な行事予定】

- 2日(水) 南部地区推進協議会 → 書面開催
- 4日(金) 新1年生1日入学・保護者入学説明会
- 6日(日) 町P連実践研究大会 → 書面開催
- 7日(月) ~ 13日(日) 家庭学習強調週間
- 9日(水) 移動図書
- 10日(木) 新PTA3役選出会・PTA理事会 → 延期
- 12日(土) 授業参観(PTA役員選出)
- 15日(火) 学校保健委員会
- 17日(木) 中学校入学説明会  
第2回教育文化の町推進会議(がんばり賞表彰式)
- 19日(土) ジャガイモ収穫(予定)
- 20日(日) 思いやりクリーン作戦
- 22日(火) お別れ遠足・6年生を送る会
- 26日(金) 小学生芸術鑑賞会(5・6年) → 中止



◇【3月の主な行事予定】

- 4日(金) 学級PTA・家庭教育学級閉講式
- 7日(月) ~ 13日(日) 家庭学習強調週間
- 9日(水) 移動図書
- 10日(木) PTA新旧専門部引き継ぎ会
- 17日(木) 学校開放連絡会
- 18日(金) 卒業式予行
- 20日(日) 思いやりクリーン作戦
- 23日(火) 卒業式準備
- 24日(木) 卒業式
- 25日(金) 修了式
- 27日(日) PTA送別会(予定)
- 28日(月) 離任式(予定)



※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事が変更になることがあります。

<2月の生活目標>

- 身なりを整えよう。

<2月の保健目標>

- 心の健康について考えよう。



# 地域とともに歩む兼久小コーナー

## すてきな作文がいっぱい ~おぼらだれん言葉の贈り物コンクール~

南部地区推進協議会の取組で、おぼらだれん言葉の贈り物コンクールを実施しました。昨年度と同じように、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、作文の募集、審査のみの実施で、発表会は中止となりましたが、兼久小学校、天城中学校のたくさん子どもたちが取り組みました。子どもたちのいろいろな方に対する「おぼらだれん」の気持ちにあふれた作文ばかりで、読んでいて心が温まりました。審査の結果、下記の子どもたちが今年度は入賞しました。各学校で、表彰を行います。また、作文発表をAYTにて放送を計画しています。

	下学年の部		上学年の部		中学生の部	
最優秀賞	1年		4年		1年	
優秀賞	2年		5年		2年	
優秀賞	3年		5年		1年	
特別賞	1年		6年		3年	
参加者	1年	7人	4年	9人	1年	19人
	2年	13人	5年	6人	2年	19人
	3年	9人	6年	6人	3年	24人
	計	29人	計	21人	計	62人
合計	112人					

## 2学期終業式児童代表作文より

2学期のはんせいと冬休みの目ひょう 3年

わたしが2学期にがんばったことは、大なわの連続とびができたことです。

朝のさわやかタイムでは、友達に手伝ってもらって練習をしました。前の人がいなくなったら、すぐに前へ行ってジャンプをするのですが、さいしょはうまくできませんでした。なわが当たるといたいし、いやだなど思うこともありましたが、がんばって続けました。練習しているとだんだんコツがわかってきました。こつは、列にならんでいるときに、できるだけ前につめておくことです。そうするとうまく入れます。この前の体育のじゅぎょうでは、今までで最高記録の186回とぶことができました。みんなで声を出してよろこんでいました。わたしもとてもうれしくなりました。3学期は200回をこえたいです。

いよいよ明日から冬休みです。わたしの冬休みの目ひょうは2つあります。

1つ目は、冬休みの宿題をきちんと終わらせることです。2学期は、宿題がきちんと終わらず、学校でのこりをして出すことがよくありました。だから冬休みの宿題はきちんと終わらせて、3学期がスタートできるようにしたいです。

2つ目は、きそく正しい生活をするということです。冬になってなかなか朝起きることができない日があるので、毎日決まった時間に起きて決まった時間にねるようにしたいです。

冬休みはクリスマスやお正月など楽しみがいっぱいあります。いい冬休みにしたいです。

## 3学期始業式児童代表作文より

冬休みの思い出と3学期の目標

あけましておめでとうございます。みなさんは、どんな冬休みをすごしましたか。ぼくは鹿児島に行って、水族館やバッティングセンターなどに行きました。いろいろな魚やイルカショーが見られてよかったです。いい思い出になりました。鹿児島の冬はとっても寒くて、いつも上着の上に着ていました。リーダーキャンプでは、SDGsのことについて考えたり、友達がたくさんできたりしたので、いい経験になりました。リーダーキャンプで学んだことを野球のキャプテンなどにつなげ、みんなをまとめられるようになりたいです。

ぼくの3学期の目標は中学校に行く準備をする学期なので、今までの学習をしっかりと振り返り、自分の苦手なところを確認し復習して、完ぺきなじょうたいで中学校に行きたいです。ぼくは、国語の条件に沿って書くのが苦手なので宅習でくり返し取り組みたいです。他にも、生活のリズムをくずさないように10時にはねて6時半にはおきる生活を毎日続けることもがんばりたいです。野球でも1月に卒業記念大会で勝っていい思い出をもって、中学校の野球部に入りたいです。勝つためには、声出しと素振りなどの練習をがんばります。中学校に行くのは心配だけど、楽しみです。みなさんも自分の目標に向かって、3学期いっしょにがんばりましょう。

## 冬休みの子どもたちの活躍

冬休みの1月6日～7日、徳之島3町の子どもたちが集まって3町リーダーキャンプが行われました。SDGsについて考えたり自然探索をしたり、様々な活動を通して学びを深めました。

参加者 6年 3名

## 兼久っ子の活躍

【海とさかな作品コンクール】

○優秀賞



## 新聞に掲載されました

令和3年12月20日付 南日本新聞掲載

勇気出した声かけこれからも

兼久小6年

「助けた方がいいかな」とたずねた。友達は迷わず「助けた方がいい」と言った。ぼくは勇気を出して「大丈夫ですか」と聞いた。

おぼあさんはほっとした様子で、「手押し車を持ってくれませんか」と言った。ぼくは先に手押し車を道路の反対側まで持って行った。その後、

「大丈夫かなあ」。ぼくはおぼあさんの困っているすがたを見て、声をかけようか迷った。「どうしよう。はずかしい」。声はかけたけれど勇気が出ない。

悩んだぼくは、友達に「おぼあさんは「もう大丈夫」と言ったけど、ぼくはおぼあさんが道路を渡り終わるまで友達と見守った。おぼあさんは「ありがとう」と笑っていた。その笑顔を見て声をかけてよかったと思った。知らない人に声をかけることに、まだはずかしいを感じる。でも、これからは自分から勇気を出して行動できるようにしたい。

(天城町)